

No.	タイトル	評価項目	自己評価	評価根拠	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述 (次年度の目標)
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている	1	・ユニット内に理念を掲示し、職員は毎日復唱している。職員一人一人が理念を理解を共有実践できている。		
			B. ほぼできている	11			
			C. あまりできていない				
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない	1			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている		・コロナ禍もあり外出の機会は少なくなったが、その中でも少人数で地域行事に参加し交流を図るよう努めた	①コロナ禍のなか、外に出ている方だと思ふ。今後も感染対策を行いながら、地域とのつながりを持てるよう支援してほしい。	
			B. ほぼできている	6			
			C. あまりできていない	7			
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない				
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている	2	・2か月に1回開催しサービス提供状況を報告し助言を受けている。会議録については職員に回覧しサービス向上に活用している。	②当会議で活動状況の報告を受け色々な事にチャレンジしている事が伺える。今後も継続してほしい。	
			B. ほぼできている	5			
			C. あまりできていない	1			
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない	5			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている		・連携し協力関係を構築している。 ・必要に応じ担当者が連絡している。 ・運営推進会議にて包括職員へ運営状況や取り組み状況を報告している。	③協力的であると思う。今後も市主催で認知症関連の催しが予定されている。可能な範囲で参加してほしい。	
			B. ほぼできている	6			
			C. あまりできていない	1			
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない	6			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている	4	・定期的に研修を行い、身体拘束についての理解を深め身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。 ・身体拘束適正化委員会を定期的に開催している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答	4 1
			B. ほぼできている	8			
			C. あまりできていない	1			
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない				
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている	5	・定期的に虐待についての研修を行い、虐待行為をしない、見過ごさないよう取り組んでいる。 ・研修で学んだ事が実践され防止につながっている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答	5 1
			B. ほぼできている	7			
			C. あまりできていない				
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない	1			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	評価根拠	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述 (次年度の目標)		
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> ・正しく理解できている ・担当者が必要に応じ支援している。 ・管理者を筆頭に職員同士で情報共有し関係部署と連携している。 ・相談援助職については制度について知識を深めているが、職員全体となると学ぶ機会は少ない。 ・そのような専門的知識について詳しい事はわからない。 				
			B. ほぼできている	6					
			C. あまりできていない	3					
			D. ほとんどできていない						
			E. わからない	3					
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> ・重要事項説明書にそってサービス内容や利用料、苦情窓口など利用者家族の理解度を確認しながら丁寧に説明している。料金改定時は都度書面にて同意を頂いている。 ・担当者でないのかわからない。 				
			B. ほぼできている	3					
			C. あまりできていない						
			D. ほとんどできていない						
			E. わからない	9					
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> ・毎年満足度アンケートを実施し結果を公表している。 ・まれにご家族・利用者より直接ご意見を頂く事もある ・ケアプランに反映し日々生活援助の中で該当利用者へのケアに取り組み、ご家族に必要な時情報を開示している 		A. 充分にできている	2	
			B. ほぼできている	8			B. ほぼできている	3	
			C. あまりできていない				C. あまりできていない		
			D. ほとんどできていない				D. ほとんどできていない		
			E. わからない	5			E. 無回答		
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> 職員会議やユニットミーティングで職員の意見を聴衆する機会がある。 ・随時受付ており、会議にて職員全員で低立案等について話し合いをしている。 ・毎年意向調査の提出があるが、あまり反映されていない。 				
			B. ほぼできている	4					
			C. あまりできていない	1					
			D. ほとんどできていない						
			E. わからない						
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> ・意向調査や行動考課シートを活用している ・人事考課制度を導入し、個別面談を実施し意向を確認している。 ・個人的な勤務での希望を受け入れて頂き意見など尊重してもらっている。 ・年休5日以上の取りにくさ。昇給ストップなど、やりがいを感じられない。 		A. 充分にできている	1	
			B. ほぼできている	4			B. ほぼできている	2	
			C. あまりできていない	2			C. あまりできていない	2	
			D. ほとんどできていない				D. ほとんどできていない		
			E. わからない	6			E. 無回答		
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> ・成熟度に応じ外部研修に参加し資質向上に努めている。 ・eラーニング(インターネットを活用した研修)を活用した研修を行っている。法定研修の他スキルUP研修もある。 ・新人育成とともに指導者としての育成も兼ねた研修となっている。 ・実技など個々の能力に応じた研修には至っていない。 		A. 充分にできている	1	
			B. ほぼできている	5			B. ほぼできている	4	
			C. あまりできていない	2			C. あまりできていない		
			D. ほとんどできていない				D. ほとんどできていない		
			E. わからない	6			E. 無回答		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	評価根拠	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述 (次年度の目標)		
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍もありそういった機会は少ない。 ・コロナ禍にて電話での交流が中心である 	/	/		
			B. ほぼできている	2					
			C. あまりできていない	1					
			D. ほとんどできていない	1					
			E. わからない	9					
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の身体状況に合わせた日常生活と一緒に過ごし支え合う関係を築いている ・「自分の身内なら」と親しみを込め接している。 ・利用者を尊重し、利用者目線で考えていけるよう心がけている。 ・利用者同士が共感できる環境や、テーマ作りを行っている。 ・利用者のできる事が少なくなってきた。 	/	/		
			B. ほぼできている	9					
			C. あまりできていない	2					
			D. ほとんどできていない						
			E. わからない	2					
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々の思いを受け止め支援している。 ・一人一人の今までのつながりを大切にするためオンライン面会を準備した。 ・ドライブの際は馴染みの場所を通ったりした。 ・コロナ禍であるがかかりつけ医、美容院など関係が途切れないよう利用して頂いた。 	④コロナ禍なので仕方がない。工夫している方だと思ふ。窓越し面会やLINE面会もあるので上手く活用し、交流活動の継続を期待する。	/		
			B. ほぼできている	8					
			C. あまりできていない	3					
			D. ほとんどできていない						
			E. わからない	2					
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント									
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> ・傾聴したり声かけを行い把握に努めている ・一人一人の生活習慣に留意し意向希望に沿うよう努めている。 ・一人一人の思いは把握しているが、日々の生活への反映ができていない。 	/	/		
			B. ほぼできている	10					
			C. あまりできていない	2					
			D. ほとんどできていない						
			E. わからない						
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族の意向を把握しミーティングや会議などを通して職員同士が話し合う機会を設け計画書を作成している。 ・話し合いを反映した介護計画書が作成されている。 ・チームとして取り組めている。 	⑤計画書作成等チームで取り組まれている様で共通認識ができていると思ふ。	/	A. 充分にできている	3
			B. ほぼできている	11				B. ほぼできている	2
			C. あまりできていない	2				C. あまりできていない	
			D. ほとんどできていない					D. ほとんどできていない	
			E. わからない					E. 無回答	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティング等で体調や気づいた事など話し合いを行い情報共有できている。 ・ケア記録に様子や気づいた点など記録し情報共有し活かされている。 ・共有された情報を基に次回の計画を検討している。 ・介護計画の見直しにタイムラグがある。 	/	/	A. 充分にできている	2
			B. ほぼできている	11				B. ほぼできている	2
			C. あまりできていない	2				C. あまりできていない	
			D. ほとんどできていない					D. ほとんどできていない	
			E. わからない					E. 無回答	1

No.	タイトル	評価項目	自己評価	評価根拠	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述 (次年度の目標)	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・職員付き添いの受診や送迎介助 ・その方の現状をとらえ対応できるよう柔軟な支援を行っている。 ・併設の特養や小規模多機能型から介護・看護・栄養・機能訓練など支援の連携がある。 ・柔軟な対応を行っているが、介護量が多い方への支援が多い事で不足気味になっている。 	⑥受診など基本的には家族付き添いであるが、家族の状況を踏まえ受診介助など柔軟に対応している。		本人がより良く暮らすためチームでアイデアを出し合い、柔軟な支援を行っている。	
			B. ほぼできている					8
			C. あまりできていない					2
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					3
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であるが、地域の活動に参加しその中で楽しんで頂けるよう支援している。 ・以前は市日や商店街など出かけていたが、コロナ禍で外出できなくなった ・コロナ終息後はボランティアの方が気軽に来園していただけるようにしていく。 	⑦市内高齢者施設では面会もままならない状況。安全面に配慮し、無理はしなくて良いのでは			
			B. ほぼできている					4
			C. あまりできていない					5
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					4
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・受診の際は「受診連絡票」を作成し医療との連携を図っている。 ・病状や薬など直接医療機関と連絡し情報共有しながら連携している。 				
			B. ほぼできている					4
			C. あまりできていない					
			D. ほとんどできていない					
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時及び退院時は病院と情報交換し連携している。 ・入院中は病棟に連絡し状況確認している。また退院時は密な連絡をしている。 		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答	3 2 	
			B. ほぼできている					7
			C. あまりできていない					
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					1
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度説明している。 ・入所時に説明し、重度化した時は状態に見合ったサービスが受けられるよう施設を紹介している。 ・施設で出来る事、出来ない事の説明を行っている。 		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答	2 3 	
			B. ほぼできている					6
			C. あまりできていない					2
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					3
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・AED操作訓練や緊急時の初動対応など訓練している。 ・研修や訓練を定期的に行っている。 ・看護との連携体制ができている。 ・研修や訓練はあるが、まだ身につけていない。実践力は伴っていない。 			急変や事故発生時に適切に対応できるよう、訓練の回数を増やすなど実践力をつける。(吐物処置、感染対策、急変時対応AED操作など)	
			B. ほぼできている					7
			C. あまりできていない					5
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					

No.	タイトル	評価項目	自己評価	評価根拠	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述 (次年度の目標)	
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に併設施設と合同で訓練を実施。水害想定では協力施設と合同で訓練をしている。 定期的に避難訓練を行っている。 研修を通じ各自備えているが、火災、地震、水害などそれぞれの対応が未熟。 	⑧動画にて訓練の様子を確認する事ができた。定期的に実施し非常時に備えてほしい。	A. 充分にできている	3
			B. ほぼできている	8			B. ほぼできている	2
			C. あまりできていない	3			C. あまりできていない	
			D. ほとんどできていない				D. ほとんどできていない	
			E. わからない	1			E. 無回答	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> 研修を通じてスピーチロックやプライバシー研修を行っている。 人格尊重とプライバシーに配慮した声掛け対応ができている。 トイレなどプライバシーに配慮し、人生の先輩であり、尊重した接し方を心掛けている。 毎日施設理念を復唱する事で再認識し配慮して対応している。 		A. 充分にできている	3
			B. ほぼできている	11			B. ほぼできている	2
			C. あまりできていない				C. あまりできていない	
			D. ほとんどできていない				D. ほとんどできていない	
			E. わからない	1			E. 無回答	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> 起床や就寝時間、食事の時間など希望に沿うよう、本人のペースに合わせて支援している。 日中の過ごし方に個別性が乏しい。 介護量の多い方の支援が優先されている 			
			B. ほぼできている	10				
			C. あまりできていない	2				
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない	1				
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> 利用者個々の好みにできるだけ添うよう調理している。 嫌いな物は代替品を準備している。 手伝いのできる方には一緒に準備片付けを依頼している。 できる範囲で取り組んでいるが、心身の状況から一定の方のみとなっている。 		A. 充分にできている	1
			B. ほぼできている	10			B. ほぼできている	3
			C. あまりできていない	2			C. あまりできていない	1
			D. ほとんどできていない				D. ほとんどできていない	
			E. わからない				E. 無回答	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> 食事。水分量を観察し、職員で情報共有し不足があれば対応し、体調の維持に努めている。 栄養補助食品を活用し個別ケアを行っている。 特養の献立に習ったバランスの取れた食事提供が出来る。 			
			B. ほぼできている	12				
			C. あまりできていない					
			D. ほとんどできていない					
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> 毎食後、個々にあった方法で口腔ケアを行っている。 できる所は一人ですていただき、できない所を介助シテイル。 		A. 充分にできている	
			B. ほぼできている	12			B. ほぼできている	5
			C. あまりできていない	1			C. あまりできていない	
			D. ほとんどできていない				D. ほとんどできていない	
			E. わからない				E. 無回答	

No.	タイトル	評価項目	自己評価	評価根拠	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述 (次年度の目標)
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄チェック表で排泄パターンを把握している。 ・一人一人の排泄パターンに合わせて声掛け誘導を行っている。 ・看護師と連携し、下剤の調整など行い、便秘予防をおこなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 	<ul style="list-style-type: none"> 3 2
			B. ほぼできている	12			
			C. あまりできていない				
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない				
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている	3	<ul style="list-style-type: none"> ・希望に応じ、入浴回数や入浴時間を決めている。 ・毎日入浴されている方や2日に1回は皆様様が気持ちよく入浴できるよう支援している。 		
			B. ほぼできている	10			
			C. あまりできていない				
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない				
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望に合わせ、安眠や休息の支援を行っている。 ・個々の生活習慣に合わせ布団やベットなど使用している。 ・室温調整など快適に休んでいただけるようにしている。 		
			B. ほぼできている	12			
			C. あまりできていない				
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない				
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている	2	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬のマニュアルの沿って行っている。 ・確認表にてダブルチェックを行い声出し確認を行っている。 ・内服変更時は体調変化ないか観察し記録している。 ・個々の台帳にお薬の説明書がある。 ・全部の薬の作用、用法までは理解できていない 	<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 	<ul style="list-style-type: none"> 4 1
			B. ほぼできている	10			
			C. あまりできていない	1			
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない				
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活歴や機能レベル、好みに応じて役割や楽しみ、気分転換ができるよう支援している。 ・園芸活動を通じ、役割や張り合い作りに取り組んでいる。 ・季節行事に合わせてドライブに出かけ気分転換をしている。 ・認知症の進行具合により十分な対応に苦慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑨コロナ禍にて活動に制限があるなか可能な範囲で気分転換に繋がる活動を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 役割など張り合いや喜びのある生活が送れるよう、利用者の生活歴や楽しみ、残存能力を把握し活用できるようにする。
			B. ほぼできている	9			
			C. あまりできていない	4			
			D. ほとんどできていない				
			E. わからない				
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている		<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り行っていると思うが、地域の人の協力という所では行っていない。 ・コロナ禍もあり外出機会が減少し、あまりできていない。 ・職員の働きかけで散歩など行くが、外に行く事自体が日常でなくなってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩なかなか地域の人の協力は難しいと思う。ましてやコロナ禍である。難しい中でも工夫をして外出など活動をしていると思う。 	
			B. ほぼできている				
			C. あまりできていない	9			
			D. ほとんどできていない	3			
			E. わからない				

No.	タイトル	評価項目	自己評価	評価根拠	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述 (次年度の目標)	
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・本人のお金は事務所で管理し、必要時に買い物支援等行っている。 ・お金の大切さは理解されているが、以前のように一緒に買い物などは行っていない。 ・認知症の進行具合により個人の理解が難しい為必要に応じて施設側で調達している。 				
			B. ほぼできている					5
			C. あまりできていない					7
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・希望時対応している。 ・家族から電話はあっても、本人から電話をする事はなく、手紙を書かれていない。 ・リモート面会の対応はしているが、それ以外では不足している。 				
			B. ほぼできている					3
			C. あまりできていない					7
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					3
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・普段から危険箇所のチェックや物の配置など安全な環境整備が行われている。 ・花や絵、畑の野菜など季節感を取り入れている。 ・分かりやすくトイレや居室に行けるよう表示している。 ・清潔に配慮し心地よく過ごせるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 	<ul style="list-style-type: none"> 2 3 	
			B. ほぼできている					13
			C. あまりできていない					
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)								
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の思いを傾聴し、意向に沿った対応に努めている。 ・帰宅願望時の声掛けや一人一人の希望に沿って対応しているが、片寄りがある。 			<ul style="list-style-type: none"> 本人の希望や思いに耳を傾け、何が出来るかチームで考え、本人の望む暮らしができるように支援する。 	
			B. ほぼできている					7
			C. あまりできていない					2
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					4
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の関わりの中で得た情報を記録に残しスタッフ間で共有している。 ・ご利用者の習慣や特徴が理解できるよう情報収集に努めている。 ・情報共有し生活歴などを通じて個々に支援を行っている。 ・居室で過ごす事やリビングでの過ごし方など、一人一人にあったケアを行っている。 				
			B. ほぼできている					9
			C. あまりできていない					1
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					2
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている	<ul style="list-style-type: none"> ・看護職と連携し医療を受けておられ、環境面についても居住しやすいよう配慮している。 ・日々の関わりの中で得た情報を記録に残しスタッフ間で共有している。 ・毎日バイタル測定を行い変化がないか観察している。 		<ul style="list-style-type: none"> A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない E. 無回答 	<ul style="list-style-type: none"> 3 2 	
			B. ほぼできている					11
			C. あまりできていない					
			D. ほとんどできていない					
			E. わからない					2

No.	タイトル	評価項目	自己評価	評価根拠	運営推進会議で話し合った内容	外部評価	記述 (次年度の目標)			
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 充分にできている	11	・一人一人が自由に居室⇄リビングを行き来している。 ・本人を読んだり、TVを見たり、食事をしたり、それぞれのペースで生活されている。	/	/			
			B. ほぼできている							
			C. あまりできていない							
			D. ほとんどできていない							
			E. わからない						2	
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている	10	・皆さん自室に必要な物品をそろえたり、馴染みの物を飾ったりしている。 ・入所時から大切なものは、そのままの形で居室におかれている。	/	A. 充分にできている	3		
			B. ほぼできている				2			
			C. あまりできていない							
			D. ほとんどできていない							
			E. わからない				4			
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている	1	・希望があればできるだけ浴えるよう、外出の機会や行事等に反映されている。 ・天候や職員体制もよるが、可能な限り行っている。施設周りの散歩など行っている。 ・コロナ禍にて自粛しているが、可能な限り参加している。	⑪可能な範囲で行っていると思う。	/			
			B. ほぼできている						4	
			C. あまりできていない						5	
			D. ほとんどできていない							
			E. わからない						3	
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている	11	・出来ない事、分からない事を無理強いせず、その方にあった楽しみを提供できている。 ・声掛けや一緒に行う事で、できる事がある事を実感していただいている。 ・ご利用者の行える役割に着目して提供できるようにしている。	/	/			
			B. ほぼできている							
			C. あまりできていない						1	
			D. ほとんどできていない							
			E. わからない							
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている	10	・レクリエーションや行事で発揮されている。 ・利用者同士会話をしたり、歌番組等観たり、体操に参加されている。 ・心地よく過ごせるよう、日々の心身状況を把握し生活支援を行っている。	/	A. 充分にできている	3		
			B. ほぼできている				2			
			C. あまりできていない							
			D. ほとんどできていない							
			E. わからない							
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 充分にできている	2	・コロナ禍にて交流する事が少ない ・最近では交流する機会が減った ・近くには会社や工場が多く、地域交流の機会はあまりない。 ・施設内での交流は対応できている。	⑫コロナ禍により、積極的な交流は難しいのではないかと。面会など受け身にならざるを得ない。	/			
			B. ほぼできている							
			C. あまりできていない						7	
			D. ほとんどできていない							
			E. わからない						4	
49	総合	本人は、このGHIに在ること、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	A. 充分にできている	11	・職員、利用者共に良好な関係を築けている。事故やトラブルも少なく、笑顔の多い日々を今後も存続していきたい。 ・安心して安全な生活を送って頂けるよう取り組んでいる。 ・笑顔で過ごして頂けるよう努めている。 ・入居者と馴染みとなり、職員の顔ぶれに親近感を持ちながら安心して生活できるよう支援している。	⑬報告書や動画等で沢山の笑顔が見られ、安心して楽しみを持って生活している様子が伺えた。	/	A. 充分にできている	4	
			B. ほぼできている							
			C. あまりできていない							
			D. ほとんどできていない							
			E. わからない					1		